

# 令和6年度 学校評価書(自己評価・学校関係者評価)

山形県立庄内総合高等学校 全日制・定時制

教育目標	心豊かに、たくましく生き抜く社会人の育成をめざし、知性と情操、自立と連携、気力と体力を培う
スクールミッション	総合学科の特色を活かして生徒一人ひとりの興味・関心に基づく科目を開設し、主体的な学習活動を充実させて、それぞれの個性を最大限に伸ばさせるとともに、地域との連携を大切にし、多くの体験と出会いから自分の在り方生き方を見つめ、地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。
重点目標	(1)総合学科の特色を活かした授業の充実と確かな学力の育成 (2)キャリア教育の推進と進路指導の充実 (3)心身の健康と安心・安全教育の充実 (4)魅力ある学校つくりと地域連携の推進

達成度	A	達成
	B	おおむね達成
	C	やや不十分
	D	不十分

自 己 評 価						学校関係者評価		総 括
項目	具体的方策	取組み状況・分析	達成度	次年度への改善点	意見・要望	評価		
1	学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通した生徒理解のもと、教育活動へ全職員で協力、協働的に取り組む</li> <li>施設、設備の有効的、効果的な活用</li> <li>生徒の規範意識やマナー意識、防災・危機管理意識の向上に向けて取り組む</li> <li>保護者、PTA、同窓会、地域と連携した教育活動に取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒情報を共有し、各課・年次とも連携を図り、教育活動に取り組むことができた。</li> <li>施設の活用については、その都度、指摘いただきながら対応した。</li> <li>避難訓練の実施、危機管理マニュアルの改訂などに取り組み防災・危機管理意識の向上を図ることができた。</li> <li>年次 PTA の開催、授業における地域連携など、保護者・地域と協力した教育活動に取り組むことができた。</li> </ul>	B	線職員、生徒理解や共通理解のもと、教育活動のさらなる推進を図る。 100周年にむけて、同窓会を中心に、PTA・地域と連携して準備を進めていく。	これまでの地域との連携に感謝すると共に、さらに協力体制が深まるとよい	B	コロナ禍を経験したことで、社会が大きく変わってきていると感じている。学校生活の中でも、部活動の鳴入率の低下や、AI学習ソールの導入など、学びの在り方も大きく変容しつつある。学校の社会的な役割を再確認し、地域に愛される学校として更に発展して欲しい。
2	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善による学習意欲の喚起と学力の向上</li> <li>UDをテーマとした研究授業週間を設け、UDの推進</li> <li>地域の人材や施設を利用した授業展開や、探究型学習の推進</li> <li>オープンスクール等を通し、より具体的に効果的な広報活動の展開</li> </ul>	授業改善による学力の向上には課題が残った。各系列による課題研究の授業が始まり、より探究的で専門的な学びができた。また、オープンスクールでは在校生が中心に説明し、系列ごとの体験授業もあって参加した中学生には好評であった。	B	校内研究授業を有効に活用しながら授業を改善し、学力の向上に対する取り組みを進める。	知識だけでなく、地域をフィールドにした学びを進展させて欲しい。	B	
3	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路達成に向けた生徒一人ひとりの能力の伸長</li> <li>就労支援を含めた組織的なキャリア教育</li> <li>地域連携、企業との交流を基にした職業観の醸成</li> <li>生徒、保護者の面談と適切な助言</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI学習ツール「すらら」を導入し、課題等で活用した。活用生徒には学力定着の効果が見られた。未活用生徒への動機づけと活用促進が今後の課題である。</li> <li>企業等との交流で、生徒の職業に対する視野が広がった。PTA模擬面接会は、生徒の面接力向上に繋がる有意義な機会となった。</li> <li>キャリアカウンセラーとの連携により、進路に悩む生徒にきめ細やかな進路指導が実現した。</li> </ul>	B	「すらら」を授業で積極的に活用し、個別最適な学習時間を確保することで、生徒の基礎学力向上と希望進路の実現を目指す。	AI学習は大学でも対応をせまられている。効果的な学習方法を研究して欲しい。	B	
4	生徒保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の規範意識の醸成に向けた指導の充実</li> <li>生徒の主体性・自主性を育む活動の展開</li> <li>地域の一員としての意識を高める取り組み</li> <li>生徒の心身の健康増進</li> <li>特別支援教育の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きな問題は見られなかったが、必要に応じて速やかに注意喚起を実施した。</li> <li>生徒会、部活動、各種委員会における活動において、生徒の目覚ましい活躍が見られた。</li> <li>町内における交通安全の啓発活動への参加等を通して、意識を高めることができた。</li> <li>保健日より、放送での呼びかけなどを適宜実施した。</li> <li>職員研修、情報提供、支援員の配置などを行った。保健課も保護者面談や家庭訪問などに取り組んだ。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>sclについては、予算の見直し、相談回数確認を徹底する。</li> <li>継続する。</li> </ul>	挨拶やマナー等、学校生活での学びは大切である。時代の変化をとらえて今後も指導して欲しい。	B	
目 標			新生入54名以上    学習到達度すらら1日30分    休学や長期欠席 0    進路決定100%	達成度	目標に到達は出来なかったが、概ね良好な数字であった。			